

起因物、事故の型：金属材料 - 飛来・落下の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	15～16	工場前で、お客様が持ってきたダンプの排雪用の雪当たり板の吊り上げ部を修理するため、吊り上げたところ、元々ついていた溶接フックが外れ、鉄板（60cm×6m）が1m位上から右足の指先に落下し骨折した。	32	11701	1～9
1	16～17	工場内で鋼材を切断作業中に、切断する鋼材を移動する際、台木の準備が不十分だったため、左足を挟まれ骨折した。	52	11209	1～9
1	11～12	馬房の修理作業中、馬小屋の窓の鉄格子にある釘を抜いた際、釘が勢い余って右目に当たり負傷した。	63	30209	—
1	15～16	店舗外構改修工事現場に於いて、架設鋼板撤去時に、重機で吊りあげる際に単管パイプが跳ね上がり、単管パイプと接触し、顔の頬と目蓋に受傷した。	39	30199	—
1	19～20	当社お客様倉庫内で、機枠の解体作業で重さ20kgの鉄製梁材を分解中棚枠の下側の連結部をしゃがんだ状態で確認中に、高さ約2.2mから梁材の片側が落下して、後頭部にぶつかり負傷した。	50	170209	—
1	17～18	事業所敷地内でトラックから工具類の積み降ろしをしているとき、レールを荷台から降し、片付ける際、持っているレールと置く台の間に指を挟み受傷した。	43	30104	10～29
1	16～17	事業所内作業場において、研削したステンレス製品をエアーで吹いた所、保護メガネを装着するのを忘れてしまったため、ステンレス切子片が右目に入り負傷した。	20	11301	30～49
		工場内にて、コラムの開先取り機にて作業台に載せて、コラム（口・			

1	16～ 17	250×250×9) の開先を取る際、長さ約2.5Mの品物の移動のとき、品物が足（左）安全靴の金具の無い所にずり落ちた様である。なお、災害発生時は本人しかおらず、現認者がいなかった。	26	11209	10 ～ 29
1	21～ 22	駐車場で看板の積み込みをしている時、鉄製の看板を誤って手を滑らせて足に落とし、右足小指を骨折した。	47	170201	—
1	12～ 13	店舗工場において、車両の変速機の交換作業中、足元を滑らせバランスを崩した事から、車両より取り外した変速機に誤って触れたため、左足すね部分に変速機が落下し受傷した。	41	80202	—
1	9～ 10	現場作業所受入コンベヤにて、エプロン取付作業中、エプロンの両端を2人でそれぞれ持ち、所定箇所にセットしようとしたところ、片側がアタッチメントに乗らず落下し、もう一方の片持ち状態になった。その際、もう一方側を持っていた被災者の左手示指と中指が、隣に仮置していたエプロンとの間に挟まれ負傷した。	47	30309	—
1	11～ 12	解体現場で鉄骨のガス切断中、誤って足の上に落としてしまった。	43	30209	1～ 9
1	19～ 20	会社の敷地内で作業中、行き先が別の品物（材料、ステンレスのアンクル）約2m前後、50～60kgを分けようとした時、重なっていた材料が左足の上に落下し、左足親指を骨折した。	48	40301	30 ～ 49
1	13～ 14	組立作業場で、バルブ付属の駆動部部品を木片の上に載せて検査をしている際、バランスをくずして部品が落ちてしまい指をはさんだ。	61	11301	50 ～ 99
1	8～9	生コンクリート用砂利製造プラントで、ベルトコンベアー支持ピン（重量20kg）を取替中に、取替ピンを設置場所に一時預けていて、取替ピンがバランスを崩し落下し、ベルトコンベアー基礎の上に手を置いていた被災者の左手に落下し被災した。	48	30199	50 ～ 99
	16～	工場内にて当社製品部品の交換のため金網張り作業中に、上網テンション用リング（重さ約10kg）を固定しているボルトの取り外しをした際、上網			1～

1	17	テンション用リングが落下し、シリンダーBrgケースとの間に指が挟まり負傷した。	34	11301	9
1	11~ 12	鉄板をリフトのつめの奥に置き、ホームまで移動し、ホームにあげる為にリフトのつめの奥から先へ鉄板を動かそうとした際、鉄板がリフトから落下し、足の甲にあたり負傷した。	44	40301	30 ~ 49
1	13~ 14	測量をする作業において、アスファルトに金づちで目印になる測量鋏（メジャーネイル胴部径5mm×頭部径9mm×長さ40mm）を打ち込んでいたところ、鋏の頭部が欠けて右目に飛び込み、受傷した（ヘルメット、安全靴着用）。	52	30309	1~ 9
1	9~ 10	第二工場の軸・パイプ切断場にて、フォークリフトの爪に乗せた3本のBCパイプ（Φ200×3,000）と緩衝用のリン木の間にはベルトリンクを通すため、爪の角度を下げたところ、パイプが落下し、バウンドして足に当たった。	56	11301	50 ~ 99
1	11~ 12	営業所に到着し、ホーム着けの準備として事前にトラック荷台の扉（後部）を開けたとき、渡りの鉄板が足元に落下し、右足先の親指を骨折した。	28	40301	10 ~ 29
1	9~ 10	裏ヤード原料置場にて、古紙圧縮機（1.2m×1.2m×8m）を3分割にする為、開口部の内壁両側横方向に取り付けている30Kレール3本を圧縮機内部に入り、2m付近の位置で上部数センチ残してガス切断後、底部をさらに切断中に、切断した左側レール3本がゆっくりと倒れてきて左足の上に乗った。倒れてきたレールは、開口部側に固定されていなかった為、倒れてきたと思われる。	68	11209	100 ~ 299
2	5~6	カニ籠漁業操業時、籠を巻き上げ中、ボンデンを引き上げるため、ドラムに瀬縄を掛けるところ、アンカー綱を掛けてしまい、勢いよく上がってきたアンカーが顔にぶつかり負傷した。	48	70201	1~ 9
2	10~11	工場外敷地内にて、H鋼を工場内から外へ移動作業中、H鋼（W150×L1500）47kgを2人で両端を持ち、H鋼を移動中、工場の外が雪	20	11301	1~

		で路面が凍結していた。H鋼を2人で移動中に被災者が雪で足が滑り、転倒した際に、持っていたH鋼が左膝側内腿に当たり負傷した。			9
2	8~9	当社工場内のフライス機を使おうとして、盤上にあった鋳物をバリ取りしようとするとして手元に引き寄せたところ、足がもつれ体勢が崩れて鋳物が盤上から作業者の手前にずり落ち、左下腿に触れながら落下して受傷した。	52	11009	10 ~ 29
2	15~16	不燃間仕切りの引き戸を解体中、引き戸の三方枠の上部枠を取り外した際に、縦枠が倒れて頭部に当たり受傷してしまった。	40	30209	10 ~ 29
2	17~18	敷地内にて、高さ2mの足場板の上から資材を受け取る際に、受け取り損ねて、右手の甲に資材が当たり負傷した。	23	30201	10 ~ 29
2	18~19	大型トラックの荷台に積んであった仕切板を他の大型トラックに移そうと荷台後部の観音扉を開けた。その際、観音扉に立て掛けてあった仕切板5枚と間に挟んであった鉄板（100cm×40cm）が、左足の甲の部分に落下し、受傷した。	49	40301	—
2	10~11	工場の産業廃棄物置き場で廃棄物の移動作業中、鉄の板（グレーチング）が右脚の親指に落ちて骨折した。	31	10903	10 ~ 29
2	14~15	立杭下部より地上部へH鋼をクレーンにて吊り上げ、トラック荷台に仮置きした際、H鋼に溶接止めしていた部材（溝型鋼）が外れ立杭下部に落下し、立杭下部で作業を再開していた被災者に当たり負傷した。	45	30102	1~ 9
2	10~11	金型倉庫内で金型収納ラックのスライド棚を引き出す際、勢いよく引き出したため、置いていた金型が滑って移動して、棚のへりに添えていた右手に当たり、右手人差し指を負傷した。	20	10805	100 ~ 299
2	12~13	当社工場において、レザークロス製品の巻き取り作業中、次の巻き取り棒をセットしたが、少し位置がずれていた為、もう一度やり直そうとしたと	47	170209	30 ~

		ころ、機台の上に置いた、使用済みの鉄製の心棒（径3cm×1m×80cm、重さ6kg）に当たり、右足の上に落下し、その際右足親指を開放骨折した。			49
2	14~15	当社倉庫前で、単管足場の組立部材の片付作業中、軽トラックの荷台からバケツに入れたクランプを降ろす時にジャッキベース（長さ60cm、幅4cm、重さ5kg位）がバケツに引っ掛かり落下し、左足に当たった。ひどく痛んだが、出血は無かったので当日は帰宅し湿布薬を貼付した。翌日は自宅で休養した。翌々日に病院へ行ったところ、左足小指の第一関節から指先部分で完全に骨折していた。	67	30309	1~9
2	17~18	工場内旋盤（NLX2500Y/1250）でワークの内径加工の段取り中、φ25内径のバイトでφ39下穴をX-2から加工している時、機械の扉を半開きにしていたことと、ワークの掴みしろが少なかったことにより爪からワークが外れ飛んできたワークが腰に当たり左の骨盤を骨折した。	28	11709	50~99
2	11~12	ステンレス板をクレーンにて吊って運搬中、誤って落下させ、右足の上に落とし、骨折した。	35	11209	1~9
2	14~15	足場工事解体中、壁つなぎを外した時、手から滑らせて下に落ちた。その時に下で、部材整理をしていたので、当たりそうになり、「危ない！」と声を出したら上を向いてしまい、その時顔に壁つなぎが当たってしまった。	34	150101	30~49
2	15~16	二人で長尺荷物を持って、棚の上に上げていた時、相手方が手を滑らせて、離してしまい、荷物を落下させたので被災者が支えきれなくて、自分の手の上に落としてしまい負傷した。	25	30209	—
2	15~16	ハウスの解体作業中に天井部分のパイプが下に落ちてきた。下で作業中の被災者の額をかすめて、10針縫う怪我を負った。	31	60101	1~9
3	17~18	工場内でホイローダーの元刃出しをするため、脚立の上に乗って元刃をガス切断していた。一気に切断すると熱で弓なりになってしまうため、中央部分を少し残して冷めてから残した部分を切ろうとしていたが、そのとき作業服に火の粉が飛び、そちらに気を取られ残す部分を切ってしまい、元刃が一気に外れ自分の方に飛んできて胸に当たり、脚立から落ちて負傷	68	11301	10~29

		した。			
3	15~16	事務所の資材置場でトラックへの積み込み作業中に、抱えていた部材（足場の材料）のうち的一本がスルッと抜け落ち、靴の上から左足の親指を直撃し、親指の第一関節辺り、爪の上辺りから切れて出血した。	27	30309	1~9
3	15~16	KDライン・ミキシングロールからウォーミングロールへコンパウンド搬送するコンベアーを使用する際、切り出しナイフを上下調整する取っ手付きの重りをセットしたが、しっかりはまっていなかったので重りが左足の上に落下し、左小指を骨折した。	31	10204	100~299
3	15~16	会社工場の前にて、トラックの荷台に積んであるチャンネル（鉄製溝形網、長さ1.5m、重量約20kg）を降ろす作業をしていたところ、手が滑ってチャンネルを右足の甲に落としてしまい、右足の中指を負傷した。	61	11209	1~9
3	14~15	銅製部品（約縦50cm・横60cm・幅27cm、25kg位）を1m50cm位の台の上に置こうとしたところ、誤って落としてしまい右足甲を負傷した。	41	11203	1~9
3	9~10	本社構内で丸輪っか形状のステンレスを切断中に、輪っかが安全に切断された瞬間、切断された部分が外にはね返り、はね返った部分が被災者の足にかすり足が切れた。（プラズマ溶接にて切断中）	34	80109	30~49
3	11~12	構内で溶接ワイヤーの交換中、手がすべり溶接ワイヤー（20kg）が高さ約1mから落ち、左足の親指を負傷した（安全靴着用）。	22	11209	10~29
3	11~12	当社第2工場内計量場において、改善活動で計量器の風よけ防止の為の鉄板を計量器が置かれている作業台の端に取り付けようとし、手袋をして鉄板（約6.3kg）を持ち上げていたところ、鉄板が手製から滑り落ち、足元の安全靴のカバーの端から少しずれた位置に鉄板の角が落下し、左足小指の付け根付近を骨折した。	58	11502	50~99
3	14~15	積込現場で荷積を終了し、ラッシングベルトで銅の丸棒を個縛しようとしていた時、ベルトを引いた反動で丸棒が1本転がり地面に落花し、右足の甲に当たり打撲した。	58	40301	30~49

3	16~17	中庭作業場横にて、オイルパンに入った水を出す為に鉄板をひっくり返そうとし、鉄板を支えていたときに誤って手をすべらせ、左足に落ち負傷した。	20	11209	30 ~ 49
3	16~17	工場1階フロアにおいて、品物をクレーンで移動させようとした際、品物をフックにかけるため挟もうとしていたが、クラブごとはずれてしまい足元に落ち、左足を負傷した。	50	11209	1~ 9
3	10~11	資材置場（当社）の解体作業中、重機で解体した鉄骨が足元に落下し、右足第一指粉碎骨折・第二指骨折を負った。	47	30106	10 ~ 29
3	16~17	木材伐出の作業、終了後に片付けの為にトラックに鉄骨を積んでいた所、高さ50cm位から鉄骨が落下して右手の甲にあたり負傷した。	48	60201	1~ 9
3	16~17	当社工場内にて金物加工をしているとき、金物に油が付着していたため、作業台より移動させる際に手が滑り、金物が足に落下した。	73	11209	10 ~ 29
3	16~17	当社、整備工場内にて、昇降用のアングル加工作業中、アングル（L字型の鋼材:縦5×横5×長さ88cm）を床に置き、ハンマーで先端切り込み部の曲げ加工をするため殴打していた。その際、殴打の衝撃でアングルが跳ね上がり、先端の鋭利な切断面が被災者の左手薬指に当たり、先端部分を負傷した。	55	50101	50 ~ 99
3	14~15	当社工場内にて一人でパイプを製作中、これを移動させようとしたときに誤ってパイプを足の上に落とし負傷した。	48	11209	30 ~ 49
3	10~11	停泊中の船舶をドックに上架作業途中に、船舶の位置決め案内・鉄パイプ（約6m）を取り外す作業を複数（約10名）で行っていた。災害発生時、被災者は当該物の固定ピンを抜いた時に落ちないように支える作業に就いていた。他の作業員が当該物の固定ピンを外した時、当該物が被災者の予想外の重量であった為、支えきれず落としてしまい、右足を負傷した。	27	11509	10 ~ 29

3	11~12	当社敷地内に於いて、リサイクル回収した物品を軽トラックから荷降ろし作業をする為、荷台のあおりを開いた際、ベットマットに隠れていたダンベルプレート5kgが軽トラックの荷台床面（約高さ650cm程度）から落下し、左足に直撃し左足つま先を負傷した。	42	80209	10 ～ 29
3	11~12	会社の倉庫を片付中、アタッチメントのピンを左足の甲の上に落とした。	37	30201	10 ～ 29
3	11~12	プレス作業場で、200tプレス機で角パイプの穴開け作業中に、角パイプの穴部にプレスの切り枝が詰まったため、タガネで叩いて取り除く作業をしていた際に、保護めがねを装着していなかったため、一部はがれて跳ね返った鉄片が眼に入り負傷した。	22	11209	50 ～ 99
3	14~15	会社資材置き場の片付け作業で出たゴミを、ダンプカーでゴミ処理業者の敷地に運搬し、そのゴミをおろす作業中に、ゴミがダンプカーから落ちにくかったため、ダンプ荷台後部の錠を外そうとし、誤って鋼板を左足に落としてしまった。	41	30199	1～ 9
3	19~20	海上コンテナから荷物をトラックに荷台に積み込む作業を行っていた。積み込み作業終了後、トラックの扉を閉めた後に、ラッシング（荷物を固定する物）を取ろうと扉を開いたところ、ラッシングカバー2本が倒れてきて、頭部及び顔面左側に当たり怪我をした。	40	40301	50 ～ 99
4	16～ 17	清掃作業中、側溝の鉄格子（40kg）を取り外している際、本人の足の上に落としてしまい、左足親指を骨折した。	50	170101	50 ～ 99
4	14～ 15	作業所南面外部仮設足場で足場組立の為、仮設材（ブレス2本）を荷上げ作業中、ブレス（3.7kg、1952mm）が足場8段目（GL+13.9m）からブレスを握り損ない、ブレス1本を落下させた。その際、足場2段目（GL+3.5m）にいた被災者の左頸部にブレスの先があたった。	22	30209	30 ～ 49
		派遣先の製造部組立課前工程にて、配線切断機から切断済みの配線を取			100



4	17～ 18	り、手で巻き取る作業をしていた際、作業指示通りに作業していたが生産量が多かった為、巻き取る速度を速めていた。そのため勢い余って配線が跳ね上がり、左目眼球を損傷した。	48	170101	～ 299
4	11～ 12	溶解炉の下で脚立を押える作業時に、上部でスレート屋根材を撤去作業中だったが、下方での作業報告をせずに作業をしていた結果、上から物が落ちて来て肩と首に当たった。	44	30201	～ 29
4	15～ 16	9番ホールのフェアウェイにて、飛んで来たボールが左足小指付根にあたった。痛みがあまりなかったのでキャディ業務を継続したところ、痛みが増し、左足小指にヒビが入っていると判明した。	56	140301	～ 99
4	14～ 15	当社屋外作業場に於いて製氷用製品のメッキ後の仕上作業をする為、高さ2mに吊り上げていた3基を地上に置き、1基を取り出そうとした際に手前に転倒し、支えようと右手を出したときに製品と地面にはさまれた。（製品：長4850mm、幅620mm、高150mm、重さ250kg）	42	11204	～ 29
4	6～7	20kg×3枚重ねの鉄板を一度に持ち上げた時、重さに耐えられず鉄板を落としてしまい、その鉄板が右足の甲を直撃した。	32	11203	～ 29
4	11～ 12	被災者は、同僚と上階へLGS材の差し上げ作業をしていたとき、1階でLGS材を持ち上げ、振り回す際に左足にぶつけ被災した。	22	30309	1～ 9
4	10～ 11	調理場で朝の仕込み作業中、作業スペースを増やすためシンク上部にふたとして置いていた鉄板を、作業が終了したので元の場所に戻そうと持ち上げた際に手が滑り、鉄板が足の上に落ちた。	70	140201	～ 999
4	14～ 15	トラックから長さ約3Mの鉄パイプを降ろしている際に手が滑って落とし、近くでしゃがんで作業をしていた当事者の左首から上半身に当たり、両部全体を負傷した。	56	11209	1～ 9
4	16～ 17	鉄板の荷下ろし作業中、50枚くらい積み重ねてある一番上に置く際に鉄板が滑り落下し、親指を挟んでしまった。	39	40301	～ 29

4	18~ 19	当社工場にて、バケツ（総重量約2トン）の先端部を架台（高さ200mm）及び枕木（縦105×横105高さ80）を使用し、床面より440mmの高さに嵩上げた状態で溶接作業中（両膝を床面に付けた状態）に、枕木が割れ、その衝撃で、架台がバケツ内に入りこみ、バケツ先端部に被災者の両足大腿部が挟まれ負傷した。	38	11301	50 ~ 99
4	10~ 11	資材置場において、6m×2m×2m×厚さ5mmの水槽をユニック車で運搬するため、幅2mで3分割する作業を行っていた。水槽は横向きに置いてあり、水槽内内側から下面→横面→上面の順に切断していった。上面を切断し終わった後、上面と側面の溶接箇所が錆びていてもろかったので切断した上面の鉄板が倒れ、下半身が下敷きになった。	49	30201	100 ~ 299
4	10~ 11	仕上げ作業場において、プラスチック金型のスペーサーブロック部品（110×68×600）を作業台より落とした時、安全靴は履いていたのだが、足の甲にも当たった為、打撲になった。	27	11209	10 ~ 29
4	10~ 11	当社工場内において、研磨機で半導体製造装置の部品の研磨を行っていた。研磨面を直角にするため、製品（82cm×18cm×5cm、50kg）にひもをかけてクレーンで持ち上げ、機械面との間にシクネスを入れようと指先を入れたところ、ひもが一部はずれ、製品と機械面の間に指先を挟み負傷した。	64	11209	10 ~ 29
4	19~ 20	2800トンプレスラインにて新規受注部品品質制度確認トライ実施中、不良品をラインサイドの作業台の上に山積みになっていた。荷崩れしそうになったためもう1名の作業者と二人で不良品を片付けようとした。しかし二人の呼吸が合わず不良品がバランスを崩し自分の足の上に崩れ落ちた。	41	11502	100 ~ 299
4	19~ 20	2800トンプレスラインにて新規受注部品品質制度確認トライ実施中、不良品をラインサイドの作業台の上に山積みになっていた。荷崩れしそうになったためもう1名の作業者と二人で不良品を片付けようとした。しかし二人の呼吸が合わず不良品がバランスを崩し自分の足の上に崩れ落ちた。	41	170101	100 ~ 299
4	6~7	土場において材料をトラックに積み込み作業中、抱えていた足場材を膝の上に落として地面にひざまずき、右膝を負傷する。最後まで勤務し様子を	25	30199	1~

		見ていたが、痛みと腫れが出てきた。			9
4	10～ 11	台車にのせた材料が足の上に落下した。	62	11209	10 ～ 29
4	14～ 15	工場で金型交換中、金型の下に敷くプレートをずらしていた時にバランスを崩してプレートが落下し、左足のふくらはぎに接触し、擦り傷が3本ほど入った。	48	11203	1～ 9
4	11～ 12	製造ライン稼働中、電気炉（インダクションヒーター）の整列コンベア上で材料が段差に引っ掛かって止まっていた。被災者はその材料を取り外す作業をしていたが、設備を停止させずに、直接手で（軍手着用）取り外そうとした。材料が外れた際、材料を押し出す「突き出し棒」の力で材料がはじき飛ばされ、指に当たり負傷した。	45	11209	30 ～ 49
4	14～ 15	当社作業場において構内の設備に取り付けるための手摺の製作中、手に持っていた鉄パイプを誤って落とし、左足甲付近に落下し負傷した。	52	11209	10 ～ 29
4	16～ 17	工場でサンダー削りをしている時に、周りに物があつたため跳ね返って目に鉄粉が刺さった。	17	11209	1～ 9
4	16～ 17	自社資材置場内の鋼管パイプ置場で長さ1mのパイプを整理するため束ねる作業をしていた時、置き方が不安定だったため1mぐらいの高さから50本ぐらいのパイプが右足甲に落下し骨折した。	40	30309	1～ 9
4	14～ 15	工場内作業場でデフ分解作業中、プロペラシャフトを降ろす際にあやまって落としてしまい、左親指に当たり切れた。	58	11701	1～ 9
4	13～ 14	水元の水源地で、工場への水が来なくなった為、コンクリートの水槽の水を抜き、円形の排水バルブを最後まで一人で閉められないので、3cmぐらいの鉄棒をバルブの中に挿し込み、てこの原理で閉めていたら、鉄棒の足元が外れ、頭部に当たった。	51	10909	10 ～ 29
		当社工場内にて、機械から鉄板を曲げる刃（幅120mm・長さ835mm・重			10

4	16～ 17	さ25kg) を取り外していたところ、つかみ損ねて落とし、刃と機械の台の間に右小指を挟んだ。	22	11301	～ 29
4	16～ 17	エレベーター取り外し作業中、2階部分レール受け鉄板を別の作業員が取り外す為にボルトをゆるめる作業をしていた。1階部分で被災者が人払いと監視をしていた際に、2階部分よりボルトを外し、声をかけ合いながら作業していたが、厚さ12mm長さ700mm×150mmの鉄板が落下し、1階部分のエレベーターBOXのかどに当たり、予想外の方向にはねて本人を直撃し、顔を裂傷した。	47	30201	1～ 9
4	14～ 15	高所作業車を使用し、貫通ピースを取り付ける際、仮付け溶接奥の配管と貫通ピースのスリーブが干渉して、貫通ピースの座金に隙間が発生した。10mmレバーブロックをゆっくり数回に分けて巻いてる時に、貫通ピースの仮付け溶接が外れ、700mmの高さから落下して、貫通ピースが右手に当たり受傷した。	64	11501	1～ 9
4	11～ 12	足場上段部において作業員がアンカー頭部のプレートの取り付け作業を行っていたが、シール材の取り付け忘れがあったため、プレートを一旦取り外そうとしたときに手が滑り、プレートが下に落下して、一段下の足場で作業（清掃作業）を行っていた作業員（被災者）の右手にも落下した。	53	30107	50 ～ 99
4	16～ 17	ユニック車の荷台から落下し、鉄製のピンが地面にあたり跳ね返り、左足第一中足骨へあたり亀裂が入った。	55	30111	10 ～ 29
5	13～ 14	建物向かって左側手前に掛けていた控えの単筒を地面から取り外した際に、単筒を手から滑り落としてしまい、受け止めようとしたところ地面と単筒に右手指を挟んだ。	32	30209	1～ 9
5	9～ 10	会社工場内で材料の積み下ろし中、高さ1m位の高さに置いてある梱包されていない鋼材を吊ろうとワイヤーロープを鋼材に掛けている途中、吊ろうとしている鋼材のすぐ脇にある他の鋼材が斜めに積んであり、不安定な状態だったため崩れてきて被災労働者の右足にあたった。	40	11209	30 ～ 49

5	16～ 17	トラックの荷室内にてラッシングビームをレールに格納しようとした際、レールにかかるラッシングビームの爪がしっかりと掛らずに作業途中に外れ落下し、慌てて押えに行ったときにラッシングビームに右手中指が強く当たり、左3指中筋骨基部亀裂骨折した。	40	40301	10 ～ 29
5	10～ 11	作業場で、H鋼のガス切断の作業をしている時に、隣で作業をしていた別の労働者が切断したH鋼が崩れて腰に当たり骨折した。	29	11209	10 ～ 29
5	17～ 18	被災労働者は、営業所作業場において、担当のお客様がレンタルした機材をダンプに積み込む作業中、ダンプのアオリが右足の上に落下し負傷した。	54	80409	1～ 9
5	15～ 16	工場内の加熱ライン充填場で、ステンレス製の容器付台車の蓋（1m×1.5m程の大きさ、約4kg）を清掃中に手が滑り、30cm程の高さから落下し、右足先に当たり、右足拇指付近を打撲した。応急処置で様子を見たが、内出血と痛みがひどくなった。	35	10109	500 ～ 999
5	16～ 17	敷地内にてトラックの荷台格納作業中、中間柱を荷台に取り付けしようとした際に手が滑り、床を支えていた指に中間柱を落してしまい負傷した。	46	40301	10 ～ 29
5	18～ 19	不用品回収依頼先で、トラックに不用品を積み込むため、トラック内で作業をしていたところ、既にトラックの中に積んであったもののバランスが崩れ、上部に積まれていた50cm弱位の鉄の部品が安全靴の上に落下し、右足小指を負傷した。	45	150102	30 ～ 49
5	9～ 10	事業場工場内において、シリンダー部品の穴明け作業中、シリンダー部品片面に500トンプレスで押し込んだ穴開け用ポンチ（円筒形：高さ約200mm、重さ約20kg、底面径約160mm・上面径約120mm）を一旦抜くために、シリンダー部品を同僚従業員がマニピュレーターで挟んで裏返ししたところ、ポンチが抜けてテーブル（高さ約500mm）に当たった後、被災者の左足に落下した。	47	11009	10 ～ 29
		高さ約70cmの高さの作業台で製品（長さ約2m、重量約7kg）面取り作業			100

5	4~5	中、次の製品との入れ替えをする為に持ち上げた際に手が滑り、左足親指上に落として受傷した。	30	11209	~ 299
5	16~ 17	作業現場から弊社の資材置き場へ戻り、ダンプから道具等を降ろして片付け中に、足元の草むらでがさごそしたため蛇ではないかと驚いて体勢を崩し、近くに立て掛けてあった単管（直径50cm×3m程度）に当たったとき自分の方へ倒れてきて、単管についていたブラケットのボルトが左肩に直撃し、痛みとしびれの症状がでた。	47	30209	~ 29
5	10~ 11	1700スリッターでコイルをアンコイラードラムに挿入する作業をコイル側面で行っていた際に、コイルをコイルカーに乗せた状態でアンコイラードラムとの高さ調整をしている際に、高さ調整が出来ていない状態でコイルカーを前進させた為、コイル側面がアンコイラードラムの軸に当たり、コイルが被災者の方に転倒し胸を強打した。	19	11009	~ 99
5	14~ 15	現場でトラックへの積み込み作業をしている最中にボールが落ちて来た。落ちて来たボールで左薬指を挟んでしまい、骨にヒビが入ってしまった。	55	150102	—
5	10~ 11	工場内において、排水溝にパッキンを落してしまい、探すために排水口上の鉄板（50cm×50cm、約10kg）を持ち上げて立て掛けていたところ、誤って鉄板を足の上に倒してしまった。	62	10109	~ 29
5	10~ 11	物流センター構内でトラックへ荷物を積み込む為の渡し板を設置しようとしている時、壁面に立て掛けておいた重さ20~30kg程度の渡し板として使用する鉄板2枚のうち手前の鉄板を取ろうと動かした際、後方の鉄板が倒れてきて受け止めたが支えきれず手が離れてしまい、右足脛部分に当たり裂傷を負った。	60	40301	300 ~ 499
5	16~ 17	工場でスクラップ回収作業中、車の荷台より滑り落ちたスクラップ（2kg位）が転がって来て足に当たった。	21	11209	1~ 9
5	15~	資材置場にて、足場資材（1200幅ビティ枠、ビティ棒：幅1200、高さ1700、重量18kg）の整備作業中、頭上にあつた資材の重量を甘く見積もり、容易に降ろせるものと思っていた。高さ約2.2mの位置にあつた資材	54	30201	—

	16	を引き降ろそうとしたが、資材のバランスを崩してしまい、支えきれずに右足甲へ落下し負傷した。多少の痛みはあったが大丈夫と思い帰宅したあと、徐々に腫れて痛みも増してきた。			
5	9~ 10	発電所復旧工事の現場で地下2階から地下3階に足場用単管パイプ(2.5m)を手渡しで下ろす作業をしていた。被災者は地下3階で足場用単管パイプを受け取ったが皮手袋から滑り、自身の右足甲に落下させ受傷した。	54	30301	30 ~ 49
5	14~ 15	メタルソーの材料送り用コンベア上に丸鋼を設置し、天井クレーンを使用するためペダルスイッチを取ろうとした際、コンベア上の丸鋼が転がり足元に落下した。	18	11701	100 ~ 299
5	16~ 17	個人宅解体工事現場にて、H鋼のボルトを外す作業をしている時、足場高さ2.5mの高い場所にいた際、H鋼の片方が外れていないと思いボルトを外したところ、H鋼が外れて右足先に落下し負傷した。	26	30202	1~ 9
5	15~ 16	朝点呼を受け、客先へ製品を引き取りに行き、客先に到着し、工場で梁の積み込みを行った。昼過ぎに、追積を行い、その後、工場で最終の追加積載を行った。積込完了後、保定作業のため車上に上がり、積荷の隙間に万棒の挿入を行った。その時、荷台上で作業を横歩きで行っていたところ、体勢が崩れて咄嗟に梁を掴んだ際、梁の1本が左足の上に落下した。	49	40301	50 ~ 99
5	11~ 12	滑走路増設工事現場で、打設した鋼管杭の杭頭処理作業のため、曳航してきた台船を打設済みの鋼管杭横に係留作業していたところ、台船が鋼管杭打設用の導杭に接触した。その際、導杭上にブルマンで固定していた導材が台船上に落下して跳ね、台船上にいた被災者に当たり負傷した。	44	30111	30 ~ 49
5	11~ 12	滑走路増設工事現場で、打設した鋼管杭の杭頭処理作業のため、曳航してきた台船を打設済みの鋼管杭横に係留作業していたところ、台船が鋼管杭打設用の導杭に接触した。その際、導杭上にブルマンで固定していた導材が台船上に落下して跳ね、台船上にいた被災者に当たり負傷した。	52	30111	30 ~ 49
6	9~	構内、製函作業において、手動製函機にて作業中、自動製函機への箱の補充に移動する際、ダンボールの水漏れ防止の為に敷いてあるパレットに躓	37	30202	1~

	10	き、右肘から地面に強打し、右肩を脱臼した。			9
6	8～9	さけます流し網漁業の漁期を終えた船（13t）の偽装撤去作業中、パイプを外すため、ねじを締めた際、誤って受けの上に手を置いてしまい、パイプが手の上に落ち、右手を負傷した。	50	70201	1～9
6	14～15	個人宅新築工事現場にて、建方作業中、1階天井パネル上で腰を曲げ、前屈みの姿勢で右手で持った釘打機を使用してパネル同士を固定していた際、鉄の破片が飛来し、右目に混入した。	32	30201	10～29
6	16～17	被災者と作業リーダーの2人でクッションストッパーの交換作業中、クッションストッパーの軸を固定する板の溶接作業をしていた。終わりに近づいてきたので、現認者が道工具や奥にあった残材を天井クレーンで片付けようとした。天井クレーンの電源をリモコンで入れ、クッションストッパーがまだ吊っていたことに気づかず、巻き上げたところ、ワイヤーが破断して、被災者の背中に倒れた。	39	11209	1～9
6	14～15	工場でのベッケン7号炉製品排出装置整備作業において、製品排出装置のシャフト交換作業を行っていた。シャフトを抜き出した後、シャフトを排出する際に吊っていたワイヤーロープが切断し、シャフトが転倒し、被災者に当たったと推定される。	56	30309	1～9
6	9～10	工場内にて、レーザー加工機でステンレスの板（1m×2m、重さ16kg）を加工するため、機械に板を載せる作業をしていた際、汗をかいた手で持ち上げたため、板が滑り落ちそうになり、手で支えようとした時に、板の端が右腕に当たり負傷した。	47	11209	1～9
6	11～12	事業所内作業中に、金属コイルを移動させていたところバランスを崩し、コイルが倒れ、その際に左下腿部を擦り、負傷したものである。	34	11209	1～9
6	10～11	不潔リネン庫にて作業中、リネン庫扉が外れて右足に落下した。	20	130101	500～999
					30



6	16～ 17	加工場において、H形鋼をトラックへ積もうとしていたところ手が滑り、左足の上に落とし、左足の第1趾基節骨を骨折した。	45	30209	～ 49
6	9～ 10	重量鉄骨3階建外装工事中に、梁荷受けの建方職方が現場敷地内の土間コンクリートの上で、トラック荷台よりレッカーでG梁6本、3～4mを仮置き後、縛られたナイロンスリングを解いたところ、手前の梁が1本、右足に倒れて人差し指と中指を裂傷骨折した。	38	30201	1～ 9
6	14～ 15	団地内の公園にある側溝内の清掃をするため、U字溝の蓋を手で持ち上げた際、手を滑らせ、U字溝の蓋を左足の上に落としてしまった。その日は、痛みはあったが退勤時間まで作業し、退勤後に病院で診察を受けたところ、左足親指付近の内出血と打撲のため、1週間程度様子を見るようにとの診断を受けた。	26	80409	100 ～ 299
6	13～ 14	第一工場内で、パンチングマシンの作業台に置いていた鉄板（厚さ2.3m、100mm×565mm、重さ1kg）20枚を両手で抱え、運んでいたところ、重さのあまりバランスを崩し、鉄板の一部が滑り落ちそうになり、慌てて両手で支えようとしたが支えきれず、鉄板約18枚が滑り落ち、その際に鉄板の角が左足先に当たり、負傷したものである。	33	11502	50 ～ 99
6	14～ 15	構内にて商品の積み込み作業中、トラックの後部のパワーゲートの鉄板（3m×0.2m）の調子が悪くなり、確認すると溶接部分が壊れていたため、自分で調節していたところ、誤って鉄板を落としてしまい、左足の上に落下してしまったものである。	52	170101	10 ～ 29
6	11～ 12	作業台にて、クレーンで金型を降ろそうとした時、金型を吊っていた金具が外れて指を挟んだ。	37	11209	1～ 9
6	11～ 12	工場内で、自動車部品取り外し作業中に手を滑らせ、重さ約20kg程度の部品を落としてしまい、右足甲を骨折した。	22	80109	10 ～ 29
6	10～ 11	鉄骨造3階建て建設工事現場で、外壁仮設足場組立中に、リン木上に仮置きしていた足場支柱材を運ぶ際、右足を支柱材散乱防止の為にあてがい、	20	30201	1～ 9

		結束バンドを切断したところ散乱し、右足が支柱材の下敷きになった。			
6	9～ 10	塗装ブース内の清掃中、壁板（鉄製）を外して移動中、壁板にはグリスが付着しており、更に地面にはペンキ（塗料カス）があり足場が悪かった。被災者は、足場が悪いため長靴を着用していた。（プロテクトなし）壁板の両端を持っていたが持ち方が悪く、グリス付着の壁板を移動する時、両端を持っていたために手が滑り、左足3指に壁板が落下した。	45	11209	30 ～ 49
6	10～ 11	本社鑄造工場で鑄造作業中に、金型と製品が引っ付いた為、バールを棚から取ろうとした時、台の上に置いてある鉄板に当たってしまい、台から鉄板が落ち、右足の小指に当たり骨折した。	30	11209	50 ～ 99
6	15～ 16	セットボルトをゆるめたのを忘れて作業をした為、品物が倒れた。足を挟んで倒れた為、腰を強打し、圧迫骨折をした。足を挟んだ時に溶接中だった為、火傷も負った。	63	11209	50 ～ 99
6	14～ 15	回転台を使用してブーム材本体に裏当て材を溶接する作業をしていた。溶接後の仕上げをしている際にブーム材が滑って落下し、左足を直撃し、左足甲を骨折した。ブーム材自体も小さく、リン木を挟んで固定していたが、作業性を考えてブーム材を手前側に寄せ過ぎていたために落下してしまった。	48	11209	50 ～ 99
6	16～ 17	会社の倉庫内で、天井の軽天材をトラックに積み込むため小さくしようとバールで叩いたところ、メガネの下側から鉄片が当たって負傷した。	56	30209	10 ～ 29
6	1～2	会社の倉庫で角パイプ（20kg）を移動中、誤って左足甲に落とし、打撲負傷した。	35	30201	1～ 9
6	11～ 12	北側1Fエレベーターホール外側にて、出荷品の積込作業をしている際に、カンカンという金属が当たる音が頭上から聞こえた。何か落下してくると思い、避けようと小走りで移動した時、背後で金属パイプ（長さ約60cm、重さ約2kg）が地面に落下して跳ね返り、それが左足首付近に当たり負傷した。そのパイプは工場敷地内に組まれていた工事現場の足場（高さ約7m）から落下してきたものであった。当日は、特に指示もなく通常通り	51	40301	30 ～ 49

		の業務を行っていた。			
7	16~17	場内において鉄塊を切断作業中誤って切断した鉄塊の一部（重さ約100kg）を高さ25~30cmから左足もとに落とし左足の指（第二趾~第四趾）を損傷したもの（当時安全靴は着用していた）。	24	150102	1~9
7	9~10	当社工場内に於いて、鉄骨仕口組み立てで鋼材1500×350×35×28長さ975mm重さ500kgを高さ30cmの作業台の上での製作作業中、仕口の両方にクランプを掛けて5cm程釣り揚げた際、クランプが滑り台に仕口が落ちバウンドして土間に落下し、右足安全靴先端部に仕口が当たり右あしを負傷した。	60	11001	1~9
7	14~15	工場内で、3.5m×2.5mのフレーム枠の上部を吊り、クレーンで10cm程持ち上げたところ、補強として仮溶接してあった長さ3.7m重さ35kg程度のL字アングルに負荷がかかり、外れて、2m程の高さから、両足に補強アングルが落下し、両足の甲を骨折した。負傷した被災者は派遣社員で、派遣先である工場内での作業中に負傷したものである。	42	11301	10~29
7	10~11	第8工場で300L金属性濾過器台座を斜めに立てかけた状態で、部品表面のウエスふき取りによる洗浄作業を行っていたところ、部品が後ろにずれて倒れてしまい、支えようとした左手が台座の下敷きになり受傷。	52	10809	50~99
7	10~11	当社工場第8工場で300L金属性ろ過器台座を斜めに立てかけた状態で部品表面のウエスふき取りによる洗浄作業を行っていたところ、部品が後ろにずれて倒れてしまい、支えようとした左手が台座の下敷きになり受傷した。	52	170101	1~9
7	11~12	工場内で鉄管の解体作業中、取り外した鉄管（重さ約40kg）の両端をそれぞれ紐で結びそれぞれの紐を二人持ちで床まで降ろしているとき、高さ約2メートルのところ片方の紐が解けたためもう片方の縛られたところを支点に鉄管が振り子のように大きく揺れ落ちてきた際、床で作業していた被災者の左足甲部に鉄管がぶつかり、その部位に負傷したものの。	47	30203	10~29
7	15~16	当社作業場内に於いて、高速カッターで切断作業を行うため準備中、フラット板（25t×65×3000L）を誤って落とし、左足甲に当たり負傷した	20	11301	1~9

		もの。			
7	10~11	被災者（以下甲という）は派遣先において棚の接続及び棚入れ作業に従事していた。甲は、同僚と共に棚の上部へ接続部品（フレーム（重さ約3kg））を取り付ける際に、手を滑らせ、右後頭部に部品の先端を打ち付けて負傷した。	24	170101	50 ～ 99
7	14~15	当社工場内で、チャンネル鋼（約40kg）の溶接作業中に、チャンネル鋼の向きを変えるために持ち上げたところ手が滑ってチャンネル鋼を右足の安全靴のカバーがない部分にチャンネル鋼を落としてしまい、右足1、2、3、4、5基節骨を骨折する。	28	11209	10 ～ 29
7	11~12	営業所敷地内において、クレーンを使い鉄パイプ（直径63mm×長さ6.7m×重さ約50kg）3本を束ね床に降ろそうとした際、床に置いてあった鉄パイプ9本が平らに置かれていない状態にあり、尚且つその上に木材を置いたが、バランスが悪く、鉄パイプを置いた途端にその内の1本が手前に転がってしまい支えていた左手親指を挟んでしまいケガをしてしまった。	35	170101	10 ～ 29
7	11~12	営業所敷地内において、クレーンを使い鉄パイプ（直径63mm×長さ6.7m×重さ約50kg）3本を束ね床に降ろそうとした際、床に置いてあった鉄パイプ9本が平らに置かれていない状態にあり、尚且つその上に木材を置いたが、バランスが悪く、鉄パイプを置いた途端にその内の1本が手前に転がってしまい支えていた左手親指を挟んでしまいケガをしてしまった。	35	80209	1～ 9
7	14~15	仮設養生鉄板をフォークリフト、永磁式リフティングネットを使用し敷設作業中道路の縁石（15mm高）を乗り越えた時、鉄板が揺れて高さ60cmから落下し、鉄板の回転・揺れを抑えていた作業員の足が鉄板下方に位置していた姿勢であったため右足甲部に接触した。	64	30301	1～ 9
7	10~11	FRP床版の加工作業中、加工品を並べるために準備していた架台（H鋼）が右足甲の部分に倒れ骨折した。H鋼を平行に2本並べ床版の幅に合うよう調整していたが、クレーンを巻き上げる際にフックが完全に外れておら	61	80109	100 ～

		ずH鋼に引っ掛かり倒れたもの。（全治2ヶ月）			299
7	13~14	当社中間処理場において、トラックの荷降ろし（手降ろし）作業中に、金型のクズ同士がぶつかり、その際に鉄くず破片が飛散し、右目にあたり右目に傷がついた。	71	30309	10 ～ 29
7	10~11	SUS看板1300×4000×1.5t73kを4人で運搬し2名が足場1800の所で支え2名（被災者）が地面で位置合わせのため、ジャッキアップ地面から200位に合わせるため、充電インパクトを使って上げていた所SUS看板がグラつき（被災者）がとっさ的に支えようと左手を看板右下と地面の間に入れてしまい看板がジャッキから、はずれ落下し左中指環指、小指不全切断したものの。	46	30302	1～ 9
7	16~17	会社で仕入れた材料の手摺（1.8m、10kg）をトラックから降ろす作業中、手が滑って右足甲に落ちた。手渡しで作業していた。	30	30209	10 ～ 29
7	17~18	トランスミッション取り付け時にミッションジャッキ上のミッションが落下してきたので、とっさに左手で支えたため左手を負傷。	33	11701	1～ 9
7	8~9	当社工場1階製缶工場において定盤（1,000mm×2,000mm高さ565mm）の上に角パイプ材（鉄製厚さ9mm、250mm×250mm×330mm約10kg）を2個積んで置き、上の角パイプ材の上面を工場研削作業中、上の角パイプ材の位置をわずかに前方へずらそうとしたところ、下の角パイプ材も一緒に動き、上下の角パイプ材がバランスを崩して下の角パイプ材が落下し、右足に当たり右第1趾を骨折負傷する。	66	11209	10 ～ 29
7	17~18	工場内に於いて梁製品作業中誤ってスプライスプレートを落下させ、左足に当たり左足の薬指が負傷。	23	11209	30 ～ 49
7	16~17	派遣先工場内作業場で、被災者が同僚社員と二人で清掃作業をしているとき、同僚社員がステンレス製の作業台を左手で持ち上げつつ右手で作業台下の清掃箇所の指示を行っていたところ、左手から台を取り落としてしま	47	170101	50 ～ 99

		い、台の下で清掃にあっていた被災者の頭部にぶつかり負傷した。			
7	13~14	鉄鋼アーケード解体工事作業中、鉄骨の柱が落下した際、左足に当たり負傷した。	66	30209	1~ 9
7	16~17	資材置き場において鉄筋D51、L=400mm（約6kg）を研磨作業している際に加工台に仮置きしていた鉄筋が転がり左手中指に落ちて負傷した。	25	30209	1~ 9
7	10~11	勘兵衛ヤード形鋼倉庫内において天井クレーンで製品（形鋼用）を移動先の置き場所に搬送し下ろそうとした時吊り荷が別のはい山に接触し製品が落下した。その時ワイヤーを外すために追従していた被災者に衝突し負傷した。	21	11009	10 ~ 29
7	13~14	家屋解体工事中、1階付近で鉄骨ALCバラシ・ガス溶断・合番作業中、重機が2階から1m×1mのALCを降ろしていた。その際、2階に残っていたALC1枚がずれて落下、ヘルメットの上から頭に直撃した。すぐに作業を止め、現場で様子を見たあと、事業主に家まで送ってもらった。	42	30209	1~ 9
7	3~4	高速道路メンテナンス関西において、仕事が終わりに、後片付けとして資材車の荷台からテラスター（荷物）をおろすパワーゲート（資材車後）に右足をかけ、飛び乗ろうとした際に片足が上がらず、左ひざを強打した。	23	11009	1~ 9
7	13~14	ボール盤（穴あけ機械）のテーブル上に機械部品（鉄板）をのせ、複数の穴をあける作業をしていた。次の穴をあけるため鉄板をずらそうとした時、手が滑り、鉄板が左足親指付け根辺りに落下した。安全靴を履いてはいたが負傷した。	62	11305	1~ 9
7	14~15	山にある会社の資材置場にて、堰の土砂片付け作業中に、倒れた鉄柵を片付けようとしていた。鉄柵が被災者の右足に20cmの高さより落ちた。	39	80109	1~ 9
7	9~10	住宅足場組立て業務作業中、1段目（2m位）にいる同僚に鉄製部材（1800手摺）を渡したが、同僚の手がすべり落下した。「あぶない」との声に振り向いた際、部材が右側顔面に当たり右頬骨上顎骨折した。飛ばされ、右足も負傷した。	51	30202	1~ 9
	9~	馬鈴薯の別選作業場でスチールコンテナをセットしている際。足元が濡れ			10

7	10	ていて足が滑り転びそうになったためスチールコンテナの小秤を右手位から落とし右足に落下したものの。事故の際安全靴を着用していなかった。	58	10109	～ 29
7	16～ 17	自社の作業場にて型枠積み込み、積おろし中トラック荷台より足に落下し、右足親指骨折した。	62	30309	1～ 9
7	11～ 12	当社加工場内に於いて、鉄筋鋼材の加工作業に従事中、鉄筋（長さ3.5m）を8本加工機械の台上に平らに並べて鉄筋の曲げ加工をしていたところ が、その中の一本の鉄筋がやや傾斜していた為に突如加工台（高さ80cm）から落下して作業中の当人の左足に当たり、鉄筋の切先で小指を切傷し、小指の骨を折る負傷を負ったものである。	64	11209	10 ～ 29
7	8～9	当社資材置場兼加工場において、屋根部材の鋼板（4000×700mm、1枚約2kg）の曲げ加工中、加工後に機械の手前に設置していた受け台（高さ約1m）に置き、鋼板20枚程度を繰り返して作業して、受け台に重ね置いていたが、重ね置きした鋼板を手前に引いたとき、受け台が手前に傾き転倒し、重なった鋼板が被災者の左足元に直撃し受傷した。	19	30209	1～ 9
7	13～ 14	会社工場内において、スポット溶接機を使って、自動車部品（約1m30cm×25cm×5mm、2kg）を自動溶接していた際、溶接し終えた製品を機械から取り出そうと右手で製品を掴もうとしたところ、手が滑って製品が倒れてしまい、倒れた製品の角が左腕に当たって負傷した。	38	11502	50 ～ 99
7	11～ 12	会社工場内において、鋼板1枚を移動させる際、ハッカーで両側を引っ掛け吊り上げたとき、片側が2枚引っかかっており、2枚かかっていた方のハッカーが外れてしまい、鋼材が片側だけに吊っている状態で斜めになり、横にスライドして左足を挟んでしまった。	21	11203	100 ～ 299
7	9～ 10	場内倉庫作業中、ガードフェンス（1800×1800）の山を（約60枚）移動しようとしたところ、資材の不安定を直そうとフォークリフトから降りて作業をしていたときに荷崩れし、高さ約2mから左足に落下させてしまい、左足腓骨を骨折した。	51	80409	1～ 9
		弊社工場に仮組してあるオープンシールド機に、排水ゲート（重量約245kgのプレート構成の製品）を、高さ2m50cmから門型クレーンで吊具（縦			

7	13~ 14	吊りクランプ) を使用して入れ込む作業の際、製品が斜めになり入り込まなかった。作業員は脚立に乗りクレーンフックを下降させ、吊具の縦吊りクランプが弛んだ状態で手で揺さぶったところ、製品が吊具から外れ落下した。その際、落下した製品が作業員の右手等に接触したあと脚立にも接触し、その反動で作業員は脚立から転落し負傷した。	32	11209	1~ 9
7	3~4	駅内工事で、脚立に乗ってメッシュシートビス止め作業中に、切粉が目に入り刺さった。そのとき、目の防護（ゴーグル）等はしていなかった。	29	30209	10 ~ 29
7	0~1	駅構内にて踏切内のレール交換中、受台に仮置きしたレールが、山越器を取り扱っていた作業員の左足踵に倒れ受傷した。	29	30104	50 ~ 99
7	15~ 16	鋳物製品を仕上げ中、不安定な状態で削っていたため、製品が足の上に倒れた。	29	11002	—
7	17~ 18	工場内で、厚さ1cm・直径1.5mサイズのステンレス製の板をステンレス加工機まで運ぶため、別の工場作業員と2名で持上げたとき、右手を滑らせてしまい、右手の親指の付け根に直撃し、損傷した。	41	11209	50 ~ 99
7	17~ 18	工場内で、厚さ1cm・直径1.5mサイズのステンレス製の板をステンレス加工機まで運ぶため、別の工場作業員と2名で持上げたとき、右手を滑らせてしまい、右手の親指の付け根に直撃し、損傷した。	41	170101	100 ~ 299
7	9~ 10	検査作業場にて、ベンチ上面パネル（単量250kg、幅600mm×長さ2,200mm）の測定を終了したあと、高さ60cm程の検査台から床にマグネット付きのホイストクレーンで降ろそうとした。その際、床まで高さ30cmの辺りまで下降したときに、ベンチ上面パネルが落下して、本人の右足親指と人差し指に当たり負傷した。	23	11002	100 ~ 299
7	10~ 11	プレス用コイル材の搬入準備のため、立て掛けてあったコイル材（重量250kg）にワイヤーを掛けるため、少し傾けたとき、コイル材が倒れ、足が挟まれ負傷した。	55	11209	10 ~ 29



7	9～ 10	ゴンドラの解体作業中、柵を取り外すためにボルトを取り外したところ、柵が床に着いていた左手に落ち負傷した。	55	30199	1～ 9
7	16～ 17	組立作業中、部品を持ち上げる時に足元からふらつき、安全靴を履いていたにもかかわらず、左足甲に部品が落ち、骨折した。	41	11209	10 ～ 29
7	14～ 15	クレーンで鉄板を持ち上げた際、出来た品物も一緒にハッカーに引っ掛かり、品物が落ちたときに右手の指に当たり、人差し指を骨折した。	61	11209	10 ～ 29
7	9～ 10	ホイストのフックを上昇させているとき、フックが金型ラックの下部に引っ掛かり、かけていた金型が落下し、咄嗟に足を後方に引いたが間に合わず、安全靴の鋼板外の左足親指付根に当たり骨折した。	44	10805	50 ～ 99
7	14～ 15	堰折場でオシレート上の製品を解く作業をしていたとき、オシレート（高さ70cm）上に詰まった製品があふれて、製品（重さ18kg）が甲カバー付き安全靴の上に落下した。	46	11002	100 ～ 299
7	14～ 15	堰折場でオシレート上の製品を解く作業をしていたとき、オシレート（高さ70cm）上に詰まった製品があふれて、製品（重さ18kg）が甲カバー付き安全靴の上に落下した。	46	170101	50 ～ 99
7	11～ 12	土場にて、トラック荷台のボデー板の張替えのため板を剥がしているとき、インパクトドライバーでビスが抜けなかったため、バールで板を剥がしていたところ、かけていたメガネの隙間からビスの破片が飛んで来て、右目に当たったものである。	58	10401	1～ 9
7	17～ 18	造船所構内において、ホースパイプを正規位置に持つていくために同僚がクレーンで吊って引き上げていた。このとき、ホースパイプの向きが合っていなかったため、被災者がレバブロックを使用してホースパイプを回転させようとしたところ、本来かかるべき方向とは違う向きの力がピースにかかり、ピースが被災者の方向へ飛んできて、それが足に当たって受傷した。	55	11501	50 ～ 99

7	14～ 15	材料倉庫で鋼材を取り出す作業中、広く作業スペースを確保出来なかったため、滑り落ちて来た材料に足を挟まれた。	41	11209	10 ～ 29
7	16～ 17	弊社出張所車庫内にて、作業準備のため資材整理を行っていたとき、H鋼ピース（H400、L0.1m、65kg）を抱えて運搬中に、持ち替えようとしたところ保持しきれず、腰高（約0.7m）から右足背部に落下させて受傷した。	49	11209	10 ～ 29
7	14～ 15	工場内でスタンション切断中に、切断して落としたスタンションの脚部分が地面から跳ね返ってしまい、安全靴の金属のない部分（右足背）に落ちた。	52	10401	30 ～ 49
9	16～ 17	鋼材ヤードにて、角パイプ（厚さ32mm×巾75mm×長さ7m重さ49.07kg）を1本出荷の為、角パイプの端で手を寄せていたところ、隣に積んでいた同角パイプの1本が崩れ落ちて右手薬指に当たって負傷したものである。	69	11209	10 ～ 29
9	15～ 16	工場構内で、鉄くずをガス切断作業していた所、作業中の鉄くずの切断が終わったと思い確認をしようとした時、未切断の鉄くずが急に落下してきて右足甲にあたりひびが入った。	48	80409	50 ～ 99
9	15～ 16	家屋解体現場の仮囲いを解体作業中、長さ3,600mmの支柱を3本かついで運び、トラックの荷台におろそうとした時に、バランスをくずし、支柱を荷台の上に落としてしまい、右手の薬指の先が荷台と支柱に挟まり骨折した。	27	30209	30 ～ 49
9	2～3	屋外売場において、什器にのっていた鉄筋（1本4.75kg×30本、長さ5m）を2人ペアになりプラッターに移しかえていたところ、プラッターにのっていた鉄筋がくずれ、その1束が落下、その際、先端部分が足の指先に当たりにケガをした。	56	80209	50 ～ 99
9	10～ 11	改修工事にて、鉄筋加工中に誤って鉄筋に左足の親指を強打した。当日は、痛みを我慢し仕事を続けたが翌日になり腫れがひどくなったため、病院へ行った。	31	30309	1～ 9

9	16～ 17	工場内にて、19本のパイプ（直径約10cm、長さ約3m）を束ねているバンドを切った時に、パイプが左足の甲に落下した。	37	11209	1～ 9
9	13～ 14	上記日時当社の工場にて、運転手の被災者が工場内を移動をしていた時、作業用のクレーンが通過している所に出てしまい、タイミング悪くクレーンのマグネットから落下した鉄くずが左足にあたってしまい負傷したものである。	55	11009	1～ 9
9	16～ 17	中2階で、撮影機材の整理をしていたところ、重りの付いた機材を移動し持ち上げた時に重りが移動して落下し、右足の親指に当たり負傷した。	28	170209	10 ～ 29
9	16～ 17	工場構内において、4t積トラックの荷下ろし作業中、トラックの横アオリをおろし中間柱（50cm×15cm、約5kg）を外して荷台上に置き、身体の向きを変えた瞬間、中間柱が左足上に落下した、その時、左足第5趾に強く当たり負傷したものの。	52	40301	—
9	11～ 12	資材置場に於いて不良鉄アングル（約15kg重）を整理中、左足の甲部（安全靴使用）鉄のない部分に落とし、負傷したものである。	67	30309	1～ 9
9	18～ 19	建方工事中、1階玄関ポーチの金物へのキカイ釘打ちの作業を行っていた。ポーチ土間があった為、釘打ち機を水平に使用し、暗い状況での作業で、キカイ釘の刃先が良く見えない状況だった。	23	30202	—
9	11～ 12	事業所工場内のプラズマ切断機の作業場所に於いて、切断後の鋼板スクラップ（t=28mm）を、所定置き場へクレーンで移動する際、スクラップ置き場の柱に鋼板スクラップが衝突した為、鋼板スクラップが傾き、当人の右足へ落下し負傷したものである。	34	11209	30 ～ 49
9	13～ 14	当社中間処分場に於いて収集してきたアルミ缶をコンテナ用収集箱から取り出す為コンテナの後ろドアを開き、下にある止めドアの片方を外し、反対側も外したとき、足元に落ちてくるので、気にはしていたが他に気劣られていたときに右足に落ち右足人差し指先端を骨折負傷した。	67	150102	10 ～ 29
		現場出発前、当社駐車場で資材を降す時に荷台より10kgのウェイトを手を			50

9	6~7	すべらし落下し、左足人指し指に落下させ受傷した。	63	170201	~ 99
9	9~10	リフォーム工事において、足場の組み立て作業中、トラックの荷台に積んでいる足場の建地（重さ約13kg）を荷台に乗って降ろしていた時、積んでいた建地につまずき荷台から転落した際、荷台上の建地が崩れ落下した建地と地面に右手首を挟まれ、骨折負傷する。	32	30202	1~ 9
9	8~9	工場内でシャーリング作業中、切断した鉄板が落ちてきて指を挟まれた。	63	170101	30 ~ 49
9	13~14	現場のゲート前にてレッカー（クレーン）車で、型枠材料をR階（3階建）へ荷揚げ作業をしていた時、パイプサポートを吊り込んで4m位巻き上げた時に吊り荷のバランスが崩れ、パイプサポートの先端部分が落下し、吊り荷の下に入る、又、吊り荷の上昇確認を怠る不安全行動により落下したパイプサポートに気づかず、左腕と左足小指にパイプサポートの先端が当たり、左腕打撲・左足小指を骨折した。	68	170201	50 ~ 99
9	18~19	ホール厨房内にて、配膳車に差し込みをする為、トレー約30枚を配膳車の横の台に置こうとした時、トレーが滑り左足の上へ落下した。	42	80209	10 ~ 29
9	20~21	当社第一工場成型機のシートつなぎ作業中、鉄管を落として原反台との間に右手を挟んで負傷した。	34	10805	100 ~ 299
9	16~17	当工場に於いて、機械にのせて加工する為、横に置いてあった材料を寄せていた時、手がすべって足に当たり、負傷した。	49	11301	30 ~ 49
9	14~15	新しいヤード内で倉庫の建方作業をしていた、ヤード内には5人作業員がいましたが、事故のおきた建方作業は2人で行っていた。両サイドに縦にたっているH鋼の地上から3M前後の所に補強のため横向きにH鋼をアングルの上に仮置きして、その下で両サイドのH鋼の歪みを確認していたら仮	29	11209	1~ 9

		置きしたH鋼が落下し、まずかぶっていたヘルメットにあたり、そのまま鎖骨部分におち腕になだれ落ちた。			
9	8～9	建設現場に鉄筋を運搬し、降ろすために荷台で鉄筋を振り分けていた所、鉄筋の束の上の鉄筋（直径3.1cm、長さ9m、重さ70キロぐらい）が滑り落ちて20センチ位の高さから右手に当たり右手の人差し指を骨折したものである。	55	40301	10 ～ 29
9	11～ 12	被災者は、2階屋内の梁底枠解体後のベニヤ板に付いてる釘を釘抜機で抜いてる最中に鉄片が右眼に入り負傷した。	39	30201	30 ～ 49
9	15～ 16	製造工場内で油槽の清掃中、誤って約1.3kgの部品を80cmの高さから患部に落とした、その時に足指が無防備なサンダルを履いていた。	62	70101	30 ～ 49
10	16～ 17	帰宅準備で工場内移動中、立てかけてあった削蹄枠部品を移動しようと持ったところ、重量があり手が滑り、その部品が足の上に落ち、負傷する。	24	70101	1～ 9
10	11～ 12	足場の解体作業中、地上で資材の荷下げ作業を行っていたところ、目に埃が入り瞬きをした際に手を滑らせ、資材が左足人差し指先に接触、負傷したものの。	22	80109	10 ～ 29
10	21～ 22	ドライラミネーター機の巻き出し箇所付近で、手製品を手動ラクサーから台車へ移し替える作業をしている時に、手製品が台車に収まった状態を確認せず、台車を動かしてしまったため、手製品が左足足元に落下し、左足首を骨折した。	28	10701	100 ～ 299
10	11～ 12	工場内で材料（12cm角パイプ、長さ63cm）を切断する準備中、切断用の台に乗せる際、適正な位置に乗せていなかったことにより落下し、左足の上に落ちて骨折した。（安全靴は履いていたが、鉄板のついていない部分に落ちた）	37	11209	10 ～ 29
	9～	当社工場内に於いて片付け作業をしようと高さ60cmの作業台上にあるH鋼			10

10	10	を手前にずらした際、被災者の安全靴先端に落下し左足親指を受傷した。	25	11009	～ 29
10	14～ 15	15エリアにスクラップ（H-500）を15t車へ積み込んだ後、引き続き13エリアに移動して、先に積んだH-500の上に乗りながら4.9tクローラークレーンでスクラップ（H-300）を積み込む作業をしていたところ、足元のH-500が荷崩れして右下腿部がスクラップ車の壁とH-500に挟まれた。	67	30110	1～ 9
10	11～ 12	台風で花卉生産ハウスが壊れたところの修繕作業中に、ハウス支えの鉄パイプを切断し運搬の際、手から鉄パイプを落とした時に切り口が右手人差し指に当たり、切傷を負った。	39	60101	1～ 9
10	10～ 11	単管足場解体中、3～4m高い所から手渡しで単管（4m）を下へ渡す時、単管の下で受け取る当事者の位置が足元の悪い所で、手渡す時お互いの合図をしなかったため、単管を掴み損ねて額に単管が当たった。	53	30109	1～ 9
10	15～ 16	新築木造現場で、屋根タル木を取り付け作業をしている時、釘打機で使うロール釘の連結している針金が、釘を打った時に左目に跳んできた。負傷した次の日から1週間は痛みがなかったが、1週間ほどたって痛みが出てきた。	22	30202	1～ 9
10	13～ 14	当社倉庫にて、撤去してきた材料（パイプ：口径100mm）を切断解体中に、ディスクグラインダが材料に引っ掛かり、誤って跳ねて左足に当たり負傷した。	31	30209	1～ 9
10	10～ 11	消火器のバラし作業中、消火器の圧を抜いていない状態で消火器の1番上の蓋をハンマーで叩いてしまい、圧がかかっていた為、消火器が飛んで、離れて作業中の被災者の足に当たってしまい、そのまま転倒し、頭を鉄板にぶつけてしまった。	22	50202	10 ～ 29
10	14～ 15	大型フライスの鋼材加工場内にて鋼材加工物（110×270×375、89kg）をフライス加工中、品物をシブクレーンで吊り、マグネットチャック所定位置へセットしようとした。この時、品物にがたつきが生じた為、品物をマグネットチャック上で反転させようと、左手で立て、右手で支えながら加工面を反転させようと動かしたが、品物の重さに耐えきれず落下させ、落	44	11209	30 ～ 49

		とした品物とマグネットチャックの間に右手人差し指を挟み負傷した。			
10	9～ 10	工場内で、お客様の車から銅の板を一枚降ろして運ぶ時に、手が滑って落とし、右足の指を負傷した。	22	80109	10 ～ 29
10	15～ 16	工場内にて、加工物を2個台車に乗せようとしていた時、1個を台車に乗せ、もう1個も台車に乗せようとした時手元が狂い加工物を落としてしまい先に台車に乗せた加工物も腕が触れてしまった為落とした加工物の上に落下した。落ちた際受け止め様とした為加工物と床に左手の人差指、中指、薬指を挟み骨折した。	25	11301	50 ～ 99
10	9～ 10	工場内において鉄骨を二人で運ぶ時に誤って左足甲に鉄骨が落ちて負傷した。	44	30302	1～ 9
10	10～ 11	粗大ゴミの収集業務中、運搬車両の荷箱内の積み直し作業（整理）を行っていた。その際、収集物の山の中に別の収集物（自転車）を投げ入れたところ、投げた先に鉄製のアングルがあり、シーソーのように跳ね上がって右脇腹を直撃して負傷した。	46	150102	10 ～ 29
10	10～ 11	塗装するために鉄骨（L字型、約3m、約20kg）を縦に並べて吊る作業をしていた。一番下の鉄骨をしゃがんで吊ろうとしていたところ、バランスを崩して尻餅をつき、鉄骨が足くるぶしの上に落ちてきて負傷したもの。	22	11209	10 ～ 29
10	14～ 15	トラックの荷台から荷下ろし作業中に、荷台の銅管が足の親指に落下した。	23	30109	1～ 9
10	8～9	被災者は港に停留中のグラブ船を整備するため、90cm×180cm、厚さ5mm、重さ約80kgの鉄板を2人で運搬しようとしていた。立て掛けてあった鉄板を持ち上げて横にする瞬間に強風に煽られ鉄板を落下させ、骨折した。当日は台風の通過した翌日で、瞬間的な強風がたびたび吹いていた。	54	30199	100 ～ 299
		プレス自動運転中、製品が横倒しとなり、そのままの状態ですすため上部金型に製品が喰らいついた。被災者は同僚とともに喰らいついた製			100

10	6~7	品ごと金型を取り外す作業に入った。取り外し作業中に被災者は、下部金型の損傷が気になり、下部金型確認のため、上部金型と下部金型の間に手を入れた時、上部金型が外れ右手の上に落下被災した。（落下物28.6kg）	43	11001	~ 299
10	8~9	鉄板の段差修正のため、バールで鉄板を持ち上げ角材を入れようとしたところ、バールがすべって鉄板が落下し、右手人差し指を挟んだ。	26	30106	1~ 9
10	11~ 12	敷地内にて台船（鉄の箱）に鉄板を取り付ける作業をしていた時、鉄板（4m×0.25m、約60kg）が滑って落下し、頭部に当たり転倒した。	45	11501	1~ 9
10	16~ 17	工場内で、定盤の上でステンレスパイプとフランジを溶接にて取り付け作業中に発生した。両手でパイプとフランジを合わせているとき、手からフランジが滑り落ち、左足甲に当たり負傷した。（安全靴は着用していた。）	31	11209	1~ 9
11	13~ 14	工場B棟（ショット機と開先機の間）でショット作業を始めたが、先に別サイズの製品を仕上げるためH248×124?4800×20本を動かそうとワイヤーを通したところ、片方のフランジ部が台木ギリギリの所に置いてあり、片手を上部に手を掛け、もう片手でワイヤーを取る際、荷崩れがおき両足にH形鋼6本が落ち下にあったH鋼に挟まれ右足を骨折した。	23	11209	—
11	17~ 18	路上にて事故車をレッカーで引き上げる準備のため、タイヤのシャフトを外してレッカーで持ち上げようとした際、外れたシャフトが右足に落下し負傷した。	37	11701	10 ~ 29
11	8~9	第1工場生産部単発エリアのレイアウト変更中で、当日は増肉パイプ1号ラインの150トンプレス機などを移動していた。工場の高さ4.55m付近の壁の横梁（H鋼）上に通している設備用電源配線をアルミ製の脚立を長さ4.1mに伸ばして、3.2m付近まで登って高所作業中に落下した。脚立の脚と滑り止めゴムキャップは付いていなかった。補助員を付けていなかった。落下原因は本人の記憶がなく、目撃者もないため不明である。	67	30201	1~ 9
11	11~ 12	構内で、大型広告塔の主看板組立作業中に（フレーム上段と下段をボルトで連結する）2箇所目にボルト止めの為、右から左へと移動する際、不安定かつ適切でない看板のフレーム部分を移動した結果、バランスを崩	31	40301	30 ~



		し、1.6m下に落下した。			49
11	10～ 11	被災者は、地下5階南工区で梁のフープ筋を1人で種分け作業をしていた。その真上（高さ約3m）の鉄骨梁上で別の鉄筋工2名が梁配筋作業をしており、持っていた宙吊り主筋（D32長さ7.5m重さ約46.7kg）を吊り金物フックに乗せて、鉄筋を結束しようと手を離れた時鉄筋を落とした。その時に、下にいた被災者の頭（ヘルメット着用）に当たり被災した。	77	30201	1～ 9
11	12～ 13	ガス管理設工事において、150A鋼管（9m×5本＝45m、重量900kg）を掘削溝内に吊り下ろす位置まで台車で運んだ。掘削溝から離れていた為、位置を調整していたところ、端部から掘削溝に滑り落ち始め、被災者がパイプと共に転落して挟まれ被災した。運搬台車はキャスター付きであり、ストッパーは付いていなかった。現場巡視及び点検の為の出張（消火器の点検） ※会社パトロール	52	30199	100 ～ 299
11	13～ 14	工場作業時に、鋼材（H鋼72kg）を、二人で移動させようとした際に、一人が手を滑らせ、鋼材を離れた時にバランスを崩し、本人が鋼材と定盤の間に手を挟まれ受傷した。	61	11209	1～ 9
11	14～ 15	当社工場内において、鉄板の段取り作業中、地面に置いてあった鉄板（400mm×300mm重さ2kg／枚）を30枚程作業台（高さ1m）の上に数枚ずつ置いていたが、板木（幅100mm）の上に置いたため、板木が小さくバランスを崩し、誤って鉄板が崩れ右足親指の付根に当たり負傷したものである。	68	11203	1～ 9
11	11～ 12	エンジン組立職場へ部品を供給するための自動運搬車にハウジングと呼ばれる部品（20kg程度・円盤状）を積み込む際に、部品の向きを間違えたため向きを変えるために部品を回転させた時に、両手が交差する姿勢になり部品を保持できなくなり手から落として被災した。	34	11403	100 ～ 299
11	16～ 17	仮設材の整備作業をしており、資材を積み重ねている際、持ち上げていた左手が滑り、右手中指を材料で挟み、骨折した。	47	30309	30 ～ 49

11	13～ 14	工場の仕上げ場で、めっきした製品を積んだパレティーナをホイストで移動中に、パレティーナを揺れ防止のために手で押さえていて、停止から再びホイストで動かした時に製品の一部が落下し、頭部に当たった。	55	11204	30 ～ 49
11	9～ 10	倉庫東側門型ヤードにおいて被災者であるクレーン運転手、玉掛け作業者は、トレーラーにH600×200×11/17 (SN400B) 10M-3本・1結束を積んだ。その後、トレーラーの運転手がトレーラー上にてワイヤーの片側を外す作業を終えたので、クレーンの運転手はクレーンのフックをトレーラーの横側へ移動し、玉掛け作業者の手が届く位置まで下げた。(その時のフックの位置は製品の上部フランジより下がっている。) 玉掛け作業者はトレーラーの横側を移動し、ワイヤーを製品から抜き、フックに掛け直して退避しようとしたところ、クレーンの運転手が巻き上げ操作をした。その際、3本結束の内、トレーラーの一番外側にある製品のフランジ部に振れたフックが引っ掛かり製品が落下してきた為に、トレーラーの横にいたクレーン運転手、玉掛け作業者の計2名が挟まれ負傷した。	59	11001	50 ～ 99
11	9～ 10	15GNショットのターンテーブルから南側のローラーコンベア上にある搬送容器に鋳物(約20kg)を手で持ち運搬していた。その時、手が滑り持っていた鋳物を左足の甲の上に落とし負傷した。	26	11002	50 ～ 99
11	11～ 12	リフォーム工事に使用する窓枠を加工する為の材料(長さ4m×2～3kg)3枚を、自社作業場において、手に持っていたが、手が滑り材料が足の上に落ちて負傷した。痛みがあったが我慢して仕事をしたが、痛みがひどくなった為、仕事が終わってから病院を受診した。	21	30202	1～ 9
11	14～ 15	押出機製造現場において、押出インフレーション機械のエアリングをダイスの上に取り付ける作業をしていた。その際2人でエアリングを持ち上げていたのだが、エアリングは油がついていたため、片方の従業員が手を滑らせてしまい、エアリングは直下した。その結果、エアリングは従業員の足の上(安全靴のカバーが入っていない部分)に落ち、従業員は負傷した。[再発防止対策] エアリングを取り外す際と取り付ける際にはハンドリフトにパレットを差し、その上にエアリングを置くこと	35	10899	30 ～ 49

		とする。			
11	17～ 18	両手で鋼材（9mm×150mm×300mm）5枚を運んでいた時、ずれて左足甲に落ち、負傷した。〔対策〕複数枚運ぶ場合は、結束して運ぶこととする。	67	11209	10 ～ 29
11	10～ 11	配達先において、1m×1mのパレットの上に紐でパレットと固定されていた約70cm四方の鉄製マンホール（四角型）を2t車の荷台からおろそうと、パレットごと持ち上げた際に、持ち上げたパレットが手前に傾いたことにより、マンホールの重量で縛っていた紐が切れ、滑り落ちたマンホールが左足つま先に落下し負傷したものである。重量物をパレットごと1人で持ち上げたことにより偏荷重となり荷物が落下した。安全靴を着用していたもののマンホールが縦向きに落下したことにより、衝撃により左母趾及び左第2趾を負傷した。	48	40301	50 ～ 99
11	9～ 10	機材センターでトラックに積込作業をしている時、導水管が腰に当たり骨折した。	39	30199	10 ～ 29
11	14～ 15	当社工場内で被災した。被災者は、定盤上（幅1525mm×長さ3050mm×高さ400mm）のステンレス板と、ステンレス製の枠を接着する作業を行っていた。接着剤を塗布後、接着面を固定する為、鉄製の重り（幅60mm×長さ840mm×高さ60mm×重量20kg）を枠の上に置き、左手を床について、余分な接着剤を右手に持った布で拭き取っていた。その際、重りが落下し左手人差し指の上に当たり負傷したものである。被災原因として、定盤の端で作業を行っていたことに加え、重りの載せ方がステンレス枠の上にきちんと載っていなかった事が考えられる。尚、被災者はゴム手袋を着用して作業を行っていた。	42	30302	50 ～ 99
11	17～ 18	棚の整理をしていたところ、棚から長い水糸が垂れていたため、強く引っ張って取ろうとしたところ、棚に打ち込んで糸を結んであった3～4cm位の釘ごと外れ、手先に飛んで来た。咄嗟に右手で避けたところ、右手中指の腹を負傷した。仕事柄、こてが握れないので、数日労務不能となつてし	65	30209	10 ～ 29

		まった。（作業靴、キャップ着用）			
11	16~17	外壁改修に伴う仮設足場で外部足場解体を行う前に足場養生をしている壁つなぎ用鋼管パイプ1.5mを取り外し、地上にいる作業員に荷下ろしをしていた。地上より高さ2.7mあり届かないにも関わらず、残高1.2m~1.5mから落下させた。荷受け時に手を滑らせてしまい右足中指を負傷した。	32	30203	10~29
11	15~16	工場にて、アルミ板を移動する際に誤ってアルミ板を落としてしまい、アルミ板の角が左足小指に当たり負傷した。	34	11209	10~29
12	14~15	駐車場脇に設置してある看板が強風で煽られているということで様子を見に行き、補強しようと押さえたところ、開閉式ガラス板の蝶番が外れ、足に落下し、右足を負傷した。	34	140309	10~29
12	11~12	搬入口で、二人で屋根のつららを落とす作業をしているとき、もう一人の者がステンレスの棒を投げつけてつららを落とそうとし、その投げたステンレスの棒が、下を向いているときに上から前頭部にぶつかってしまった。	58	80209	50~99
12	10~11	工場内の作業台で、金属製品を溶接作業中、製品を手前に回転させて移動する際、手がすべり、作業台から製品が落下し、避けようとしたが、左かかとにぶつかり負傷した。（製品は50cm四方で30kg程）	42	11209	1~9
12	12~13	第2工場の溶接作業場において、鉄板（400mm×1400mm×12mm、重さ35kg）のゆがみをバーナーで熱しハンマーで叩いて矯正していた際、落下防止の為にクレーンを使用しなかった為、鉄板が作業台から滑り落ち、左足甲に当たり負傷した事故である。	49	11301	10~29
12	9~10	当社工場内にて、段取り作業中、プレス機にセットしてあったコンベアーを移動しようとコンベアーをのせていた台車を移動した時、コンベアーを安定させる為にのせてあった鉄の塊（重り）が台車から落ち、左足の甲に当たり負傷した（安全靴着用）。	32	11502	50~99
		当事業所リサイクル工場において、手袋をして家屋解体後の廃材を分別し			

12	11~12	ていた。マンホールの蓋を持ち上げたところ、手が滑り左足親指に落ちてけがをした。痛かったが安全靴を履いていたので大丈夫かと思い、夕方までがまんしたが痛みがひかず、医療機関にかかった。	39	10909	1~ 9
12	10~11	動物病院の廃棄物回収のため、トラックの荷台で荷物の積み込み作業をしていた。積み込みをした鉄のカゴがすべり落ち、鋭角部分が左大腿部を裂創させた。	33	30309	1~ 9
12	1~2	ロングレール交換を実施中に、レールに張力をかけて引っぱっていたところ、締結していた金具がはずれ、内側に移動し、作業していた本人の足に当たった。	45	30209	30 ~ 49
12	9~10	工場の屋根工事の現場で、下請として足場の解体作業を行っていた時、被災者が地上で足場の受け取りをしていたが手を滑らせ、足場材が落下し足にぶつかり、負傷した。	28	30209	1~ 9
12	15~16	溶接作業をしていた所、作業から廃材のガス溶断を行った際に、よじれた廃材（36mm×150mm×120,000mm）がよじれた反動で跳ね上がり右足に接触し、骨折した。	47	11209	10 ~ 29
12	10~11	工場内に鉄製丸パイプを搬入する為、ラックに載せ、それをキャスター付台車に載せて手押しにて移動させていた。その台車の向きを変えるために台車を押した際に丸パイプがラック内で転がり、ラックの片側に寄ってしまったことでバランスが崩れ、ラックと丸パイプが台車より落下した。その際に右足がラックとパイプの下敷きとなり、右足腓骨・内果を打撲骨折したものである。	23	11209	30 ~ 49
12	9~10	工場内において、トラックの荷台へ鋼材を積み込み中に、薄い鋼材4枚を仮止めせずに、次の鋼材を積み込んだため、下の台木に足が触れ、薄い鋼材が倒れ、積み込み中の鋼材とトラックのアオリの間に右足を挟まれた。	52	40301	10 ~ 29
12	16~17	本社工場1F野菜原料庫内で、他の社員と2人で排水桝を清掃するため、排水桝の上のパレットを持ち上げた際に、横に積み上げていた荷が崩れてきた。それを手で支えようと持ち上げていたパレットを放したため、足の上に落下し、受傷したものである。	51	10104	300 ~ 499

12	11~12	工場内にて、リーチリフト（1.5t）を使いプレス機にコイル（直径1m、重さ320kg）をセットしようとしていた際、コイルの向きが逆だったため、向きを変えようとリーチリフトの爪にフックで掛けた状態のコイルを人力で動かしたところ、フックが爪から外れ、コイルが手前に転倒し、その際にコイルが右足に当たり負傷した。	54	11203	30 ～ 49
12	11~12	2tトラックの荷台に積んであった軽量材（L5.0m）を、被災者が荷台に乗り、1人で手作業にて荷下ろしをしていた際、体勢を崩して荷台から地面に墜落し、同時に荷台の軽量材3束が被災者側に落下して被災者に当たり、左方と左胸部を負傷した（左鎖骨・左肋骨骨折）。	43	30201	1～ 9
12	15~16	工場内でH鋼製品（H200×100、1m）を作業台上で冶具を用いて反転作業中、通常は自分側から奥側に3回で反転させるところ、手前に1回で反転させようとした。製品が作業台から落下し、右足人差し指に接触し負傷した。	24	11209	10 ～ 29
12	2~3	荷卸しするためホームに接車して、鉄板を下ろそうとしてラッシングベルトを外したとき、フックも外れ、鉄板が右足の甲に落下した。	40	40301	30 ～ 49
12	6~7	ガレージにある1巻25kgの番線を、ガレージの前に停めていた車に積もうとしたとき、バランスを崩して番線を落とした。足に当たりそうになったため、それをかわそうとした時に、停めていた車に小指を強打した。	18	30209	1～ 9
12	11~12	得意先の構内で荷物の積み込み途中（パイプ、一束が10本結束）、1段目と3段目を胴巻き（ラッシングベルト）で固定しようとして、荷台の横にいたとき、突然3段目のパイプが頭上に落下し、ヘルメットが割れ、そのあと右足に落下して骨折した。	49	40301	50 ～ 99
12	10~11	倉庫にて冬用タイヤに交換しているときに、エアーコンプレッサー（機械）のセルモーターが故障し、手動にてエンジンを掛けている際、手回しの鉄のハンドルが跳ね返り、顔面に当たり怪我をした。	51	40301	1～ 9
		金型補修場に金型（約150kg）を運搬台車に乗せて移動中、台車の車輪が			100

12	8~9	引っ掛かり、台車から金型が滑り落ちた。その際、右足の上に金型が落ちて足首から甲にかけて被災した。	38	11502	~ 299
12	10~11	整備工場内で、トレーラーの下にもぐり、部品を交換する作業をしていた。交換する部分のボルトを外していたとき、不安定となったボルトが倒れてきて鼻に当たった。	40	11701	10 ~ 29
12	13~14	自社土場にて資材の整理整頓中、1m~4mの単管パイプ資材の受け渡し中に、声の掛け合いが不十分で受け損ね、資材が左手に当たり負傷した。	27	30209	10 ~ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_08.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html)